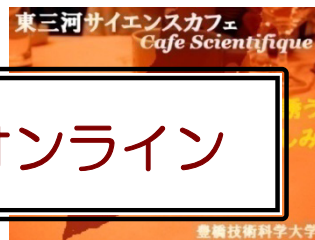


第250回東三河サイエンスカフェ 2020年8月20日(木) 午後6時30分～8時00分 豊橋駅前サテライトオフィス



オンライン

<http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/cs/>

東三河サイエンスカフェ

検索

サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

ポーランド記法 (Polish Notation) — 情報A-Z「P」の巻 —

ポーランド記法は、数学の式の書き方のひとつです。私たちは、普通、 $2+3$ や、 $(2+3)\times 5$ のように、式を書きます。ポーランド記法では、これらを、 $+23$ 、 $\times+235$ と書きます。 $()$ がなくなっています。それがポーランド記法の大きな特徴です。コンピュータのなかでも、このポーランド記法(の亜種)が用いられています。

Jan Łukasiewicz

今宵は、 $()$ のいらぬ式の書き方、ポーランド記法についてサイエンスしてみましょう。

- ★ゲストスピーカー：
河合 和久 先生
豊橋技術科学大学
情報・智能工学系
- ★先生のご専門：
コンピュータ・サイエンス
- ★先生からの一言：
ポーランド記法は、ただ $()$ が不用、というだけではなく、ポーランド記法を用いることで、その式の計算の仕組みがとても簡潔になる、という特長があります。それが、コンピュータのなかで用いられる理由のひとつです。

★対象：高校生以上どなたでも。参加費無料。定員20名。定員に達し次第しめきります。事前に参加申込をしてください。

★申込：参加希望の方は、「第250回参加希望」と明記し「氏名」「年齢」「連絡先(電話番号またはメールアドレス)」をお書きの上、下記のメールアドレスへお申込みください。

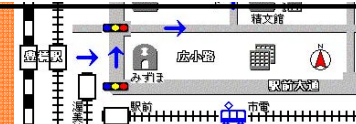
東三河サイエンスカフェ事務局

メール：cs@ita.cs.tut.ac.jp

申込×切：8月19日(水) 正午

★ご連絡いただいた個人情報は、申込受付等の連絡業務のみ使用します。

オンライン



★会場(豊橋技術科学大学豊橋駅前サテライトオフィス)：豊橋駅から、広小路どおり、ときわアーケードを通り抜けた先の左側にあります。駅から徒歩5分。